

## 九州エリアの2024年5月分電気料金の燃料費調整について

九州エリアの2024年5月分の電気料金につきまして、下記のとおり燃料費調整を実施いたします。  
 なお、当社が料金のお知らせおよび請求を書面等にて行う場合は、当面の間、燃料費調整単価および離島ユニバーサルサービス調整単価の合算値を燃料費調整単価、燃料費調整額および離島ユニバーサルサービス調整額の合算値を燃料費調整額とそれぞれ表示いたします。

記

### 1 燃料費調整単価（税込）

	供給電圧	激変緩和措置 反映前	激変緩和措置	激変緩和措置 反映後
1 kWhにつき	低圧の場合	2 円 5 0 銭	▲ 3 円 5 0 銭	▲ 1 円 0 0 銭
		離島ユニバーサル サービス調整単価		合計
		0 円 0 0 銭		▲ 1 円 0 0 銭

※2023年11月2日の閣議決定「デフレ完全脱却のための総合経済対策」にもとづく電気料金の高騰の激変緩和措置の実施に伴い、2024年2月分から5月分（1月使用分から4月使用分）においては、電気料金の燃料費調整単価について、1キロワット時につき3円50銭値引きしています。

### 2 平均燃料価格（貿易統計）

2023年12月 ～ 2024年2月 の 実 績	平均原油価格	79,965 円/k1
	平均LNG価格	100,709 円/t
	平均石炭価格	24,799 円/t
	平均燃料価格	45,800 円/k1
基準燃料価格		27,400 円/k1

（参考1）燃料費調整単価の算定

#### ◇平均燃料価格の算定

		<換算係数> 原油換算係数×熱量構成比	
		↓	
原油価格 A	79,965 円/k1	×	0.0053 (α)
LNG価格 B	100,709 円/t	×	0.1861 (β)
+ 石炭価格 C	24,799 円/t	×	1.0757 (γ)
		↓ (10円の位で四捨五入)	
<b>平均燃料価格</b>	<b>45,800</b>	円/k1 (100円単位)	

#### ◇燃料費調整単価の算定（低圧の場合）

		<基準単価> 燃料価格が1,000円/k1 変動した場合の料金変動	
		↓	
燃料費調整単価 = (	平均燃料価格 45,800	-	27,400) × $\frac{13.6}{1,000}$ (銭)
	250.24		
		↓ (小数点以下第1位四捨五入)	
激変緩和措置反映前の 燃料費調整単価(税込)	2 円 5 0 銭	/kWh	
		<激変緩和措置> ↓	
激変緩和措置反映後の 燃料費調整単価(税込) =	2 円 5 0 銭	-	3 円 5 0 銭
	▲ 1 円 0 0 銭	/kWh	

(参考2) 離島ユニバーサルサービス調整単価の算定

◇離島平均燃料価格の算定

<換算係数>

原油換算係数×熱量構成比

↓

原油価格	A	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">79,965円/k1</span>	×	1.0000	(α)
LNG価格	B	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">100,709円/t</span>	×	0.0000	(β)
石炭価格	C	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">24,799円/t</span>	×	0.0000	(γ)
+)					

↓ (10円の位で四捨五入)

離島平均燃料価格 80,000 円/k1 (100円単位)

◇離島ユニバーサルサービス調整単価の算定 (低圧の場合)

<離島基準単価>

燃料価格が1,000円/k1  
変動した場合の料金変動

↓

$$\begin{aligned}
 \text{離島ユニバーサルサービス調整単価} &= \left( \frac{\text{離島平均燃料価格}}{\text{離島平均燃料価格}} - 79,300 \right) \times \frac{0.3}{1,000} \text{ (銭)} \\
 &= \frac{80,000 - 79,300}{1,000} \times 0.3 \\
 &= 0.21 \\
 &\quad \downarrow \text{ (小数点以下第1位四捨五入)} \\
 \text{離島ユニバーサルサービス調整単価 (税込)} &= \frac{0.21}{100} \text{ 円/kWh} \\
 &= 0.0021 \text{ 円/kWh} \\
 &= 0円00銭 /kWh
 \end{aligned}$$

以上